



栄光の未来

R6.7.5 発行
第11号

生徒の声が学校を動かす！体育着登校開始！

登校時の服装について3年生の生徒3名から相談を受けて2週間が経過した6月27日（木）に、生徒会本部の生徒2名が校長室に来ました。そして、登校時の服装についてどのくらいの生徒が体育着登校を希望しているのか、アンケート結果をもとに改めて体育着登校の許可をお願いされました。

今回の調査結果から、**回答者の90%以上の生徒が制服登校は暑いと感じている**ことが示されました。また、**回答者全員が、登校時の服装は体育着がいい（制服も可）と考えている**ことも示されました。一部ではなく、大多数の生徒の声として重く受け止め、7月1日（月）から体育着登校を許可することにしました。



アンケート結果をタブレットで示しながら体育着登校の許可を迫る本部の2人です！

今回の生徒や生徒会の動きは、まさに「生徒の手による学校づくり」そのものです。主体性を発揮し、よりよいものを目指して挑戦する生徒の姿が、そこにはありました。素晴らしいことだと思います。

東翔祭・合唱発表会も、生徒の声で創る！

知らない生徒もいるかもしれませんが、実は今年度の東翔祭や合唱発表会についても、計画の中核となる部分で生徒の声が生かされた形で動き始めています。どちらも、スタートの段階で生徒会本部をはじめとした代表生徒に意見を求め、その声をもとに担当職員による提案内容の見直しを図りました。

【東翔祭の「種目」について】… 従来の種目のままでよいか相談

チーム対抗の競技種目がないことから、コロナ禍以前に実施していた「大玉送り」を新たな種目（団体種目）として加えることが決定！

【合唱発表会の「賞」について】… 「コンクール形式の廃止」を打診

コンクール形式のメリット・デメリットや、廃止の理由の妥当性について議論を重ねた結果、今年度は従来通り「コンクール形式」で実施することが決定！

大人である教員が、学校行事のねらいや過去の経験等に基づいて計画・実施すれば、表面的には大きな問題なく活動を進めることができます。しかし、「変える」「変えない」ということを含め、大人が決めて生徒がそれに従うという流れでは、生徒の主体性を育むことはできません。当然、「生徒の手による学校づくり」を達成することもできません。東石山中は、生徒が主役の学校です。生徒の皆さんには、「熱い思いをもって、方法を駆使して力を尽くせば、よりよい学校を自分たちの手で創る」力があるのです。これまでやってきたことをただ繰り返したり、現状や指示されたことを当たり前のように受け入れたりするのではなく、「本当にこれでいいのか」「もっとよくするにはどうすればよいか」という視点で現状を見つめ、変革に向けて自ら一歩踏み出す存在になってもらいたいと思っています。



はたして、今年はどうな感動が生まれるでしょうか。楽しみですな。